

Tachikoku Times

No.0052 12月号

東京都立立川国際中等教育学校

<https://www.metro.ed.jp/tachikawa-s/>

Tuesday December 20, 2022

困っている人を笑顔に

総合的な探究の時間・学年発表会

2チームが 全国大会へ!

第5学年では、「困っている人を笑顔にする」をテーマに、総合的な探究の時間

の取組を進めてきました。前回の授業では、学級内でチームごとに研究内容を

まとめたポスターを掲示して研究発表を行いました。各学級で代表の1チームを選出しました。今回の授業では、学級代表となった4つのチームがオンラインを利用して第5学年の生徒の前で発表しました。学級内の発表で選ばれた4チームのメンバーは、しっかりとした口調で、自信をもって発表して



A組：障害者におけるUHCの達成方法について

第5学年学級代表のテーマ

A組：障がい者におけるUHCの達成方法について

B組：配達ドライバーの過労問題をなくす

C組：児童虐待を減らすにはどうすれば良いか

D組：暮らしを脅かす環境の変化



C組：児童虐待を減らすにはどうすれば良いか

いました。発表後の審査の結果、A組とC組が令和5年2月23日に行われる「クエストカップ2022」（教育と探求社主催）という全国大会への出場チケットを手に入れました。全国大会に出場する2チームは、発表原稿・ポスターを修正して、さらにプレゼンテーションの技術を向上させて大会に臨みます。

第2学年

多文化共生ってなに?

「多文化共生ってなに?～その必要性と自分の将来に向けて～」です。独立行政法人国際協力機構（JICA/ジャイカ）の青年海外協力隊に参加された方と、シニア海外ボランティアに参加された方の2名を講師としてお迎えしました。国際社会を舞台にボランティアを実践されている立場からのお話を伺い、①「JICAの活動を基にした多文化共生の重要性」②「ボランティア活動を知り、将来のために今自分たちにできること」の2つの項目を中心に話をさせていただきました。生徒たちは、日常の生活では、できないことや、触れることができない内容を学んで、深く考えさせられることがたくさんあった国際教育講座となりました。

国際教育講座



立川国際中等教育学校では東京都主催の「東京体験スクール」で海外からの留学生を受け入れています。今年度は、カナダ・オーストラリアから計17名の留学生が立川国際にやってきました。最初は緊張した表情をしていましたが、立川国際で生活をしていくうちに、笑顔を見せるようになりました。第1学年の英語の授業では、立川国際

留学生が来ました 東京体験スクール



の生徒との交流を深めていました。留学生たちは、自己紹介の後、グループの仲間とコミュニケーションを楽しんでいました。体育の授業で「柔道」を体験したり、書道の授業で、筆を持って字を書いたりして、日本の「和」を楽しんでいました。立川国際の生徒たちも自分たちの英語の「話す力」を発揮して、留学生と積極的に英語で会話をしていました。立川国際の生徒も留学生たちも、思い出に残る5日間でした。